

令和4年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

国が進める地域共生社会とは、「地域に暮らすすべての人びとがそれぞれに役割をもちながらともに支え合い、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」とされています。

この地域共生社会では、地域力の強化と包括的な支援体制の整備が不可欠となっておりますが、これは専門職による伴走支援だけでなく、より身近な地域における住民同士の日頃の見守りが、社会との継続的なつながりになると言われています。

新型コロナウイルス感染リスクはゼロにならないことを前提（コロナとともに生きていく）に、「感染防止」と「社会福祉活動維持」の両立を目指すことを基本的な考え方とし、「新しい生活様式」の中で新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の推進を図ります。

令和4年度は、児童発達支援センター開設を目指し、地域連携、地域ネットワークの中核機関として関係機関等と連携を図りながら重層的に支援を行い、地域連携体制の構築に取り組んでまいります。

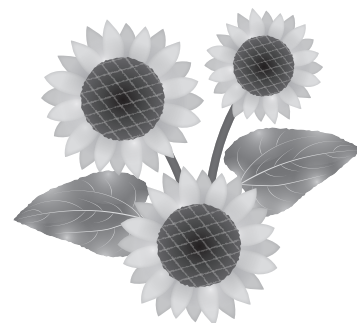
日常生活自立支援事業等により地域の権利擁護支援を必要とする人の相談支援を行うとともに成年後見制度での法人後見にも取り組んでいきます。

また、社協の事業の経営環境や状況が年々厳しさを増すなか、自主事業である介護・障害福祉サービスを経営する意義を確認しながら、経営基盤の強化も求められています。

これらから、地域共生社会の実現にむけて「協働の中核」を担う存在になれるよう、社協の総合力の向上と組織・事業基盤の強化にむけて努めてまいります。

重点事項

1. 住民主体による参加型の地域福祉サービスのシステム構築
2. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援強化
3. ボランティア活動の活性化と人材育成
4. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
 - (1) 児童発達支援センターの開設
5. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター5か所
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)
6. 成年後見制度事業の実施(法人後見事業)



収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,392,000	支 出	人件費支出	400,884,000
	寄付金収入	50,000		事業費支出	89,543,000
	経常経費補助金収入	73,926,000		事務費支出	46,355,000
	受託金収入	37,317,000		就労支援事業費支出	3,829,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	659,000		助成金支出	553,000
	介護保険事業収入	325,484,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	就労支援事業収入	3,829,000		積立資産支出	1,000
	障害福祉サービス等事業収入	104,054,000		その他の活動による支出	16,701,000
	その他の事業収入	36,000		予備費支出	80,000
	受取利息配当金収入	12,000			
	その他の収入	187,000			
	収入合計	550,446,000		支出合計	559,132,000
		当期資金収支差額	△ 8,686,000		